

令和元年度
(2019 年度)

農業委員会事務局

の取り組み実績

1. 重点施策・事業

(1) 農業委員会の円滑な運営	
方向性	農業委員及び農地利用最適化推進委員による農業委員会総会・協議会や常任委員会その他の会議や農地パトロール等の現地活動について、引き続き円滑な運営に取り組みます。また、令和2年(2020年)7月の委員改選に向けた諸手続きを着実に進めていきます。
取り組み	毎月の農業委員会総会における許可案件等について、法令に基づく的確な審議を行うとともに、普段の調査・相談活動において、委員等と事務局職員との一層の情報共有化を図るなど、円滑な運営に努めます。また、農業委員会制度等についての研修会を実施します。 平成31年度当初予算：1,640千円
実績	月1回開催している農業委員会総会においては、農地の権利移動や転用等について、法令に基づき審議を行い、普段の調査・相談活動についても、総会後の協議会で情報共有化を図っています。また、7月10日には「農業・農業委員会をめぐる情勢について」をテーマに研修会を実施し、20名が参加しました。委員改選手続きについては、農業振興課と共同し、JA北河内の各支店や代表支部長へ概要説明を行いました。2月には選任の手続に関する要項を決定し、推薦及び公募を行いました。 令和元年度決算：1,164千円
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

(2) 農地銀行による農地貸借の結び付けの強化	
方向性	担い手への農地利用の集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消等の農地利用の最適化を推進するため、引き続き、農地銀行(農地の貸借等を進める組織)による農地貸借の結び付けの強化に向けた取り組みを進めます。
取り組み	農地銀行に係る農地貸借希望台帳の登載件数を増やし、農地の貸し借りの希望者が閲覧することで、双方の結び付けにつなげます。また、農業委員会発行の「農委だより」への記事掲載等により、農地銀行制度や農地貸借希望台帳の啓発・周知に努めます。 《目標値》 新規集積面積：2ha(平成26～30年度の増加面積：9.6ha)

	平成 31 年度当初予算：150 千円
実績	4 月からの農地貸借希望台帳の新規登載件数は 4 件 6 筆あり、また、4 月から初めて利用権設定された農地（新規設定）は 32 筆 20,891 ㎡でした。8 月、1 月に各 3,500 部発行した農委だよりに農地銀行制度について掲載し、市内の JA 組合員への情報提供を行いました。
	令和元年度決算：125 千円
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

(3) 農地適正管理システムの精度向上	
方向性	農地台帳及び農地に関する地図について、インターネットの利用等による公表が法定化・義務化されていることから、農地の農業上の利用の増進及び農地の利用の調整に資するほか、農地法に基づく許可事務等法令業務や農地利用の最適化の推進のため、農地適正管理システムの精度向上を図ります。
取り組み	的確な農地情報（農業者、所在、地番、面積等）の把握に努め、農地適正管理システムの精度向上を図ります。また、システム稼働前の農地転用に係る許可・届出物件のデータベース化を進めており、引き続き取り組んでいきます。
	平成 31 年度当初予算：2,246 千円
実績	現在、農地の権利移動や転用の許可案件等については的確な情報把握につとめ、農地適正管理システムを随時更新しました。また、システム稼働前の農地転用に係る許可・届出物件のデータベース化は 3 月に作業を完了しました。
	令和元年度決算：1065 千円
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

2. 行政改革・業務改善

◆業務改善のテーマ・目標

テーマ	取り組み内容・目標
窓口サービスの充実	農地法に基づく許可事務等の各種手続きについて、申請者の理解がより得られるよう、申請書見本、必要書類一覧等の改善を図ります。
実績	各種手続きの申請見本、必要書類一覧等について、記入のしかた等がわかりやすいように申請見本を修正し、必要書類一覧には詳しく書類名を記載するなどの改善を行いました。
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

テーマ	取り組み内容・目標
ワーク・ライフ・バランスの推進	職場における業務のスリム化や執行体制の工夫・意識改革により、時間外勤務の縮減や休暇取得の促進に努めます。
実績	これまで一人の職員が担当していた報酬関係事務等を各月ごとの輪番制にするなど、業務を平準化することで時間外の短縮を図りました。
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

テーマ	取り組み内容・目標
事務処理のマニュアル化	これまで職員間で口頭で伝えられていた各種業務の進め方について、マニュアルを作成し、知識・技術等の継承が正確かつ確実に行われるようにして、事務作業の効率化を図ります。
実績	一部の業務については、マニュアルを作成し、効率化を図りました。まだマニュアル化に至っていない業務については、引き続き取り組みを進めています。
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

3. 予算編成・執行

- ◆農業委員及び農地利用最適化推進委員とともに農業者年金の加入推進活動を行い、新規加入者を増やすことにより、委託手数料の増収を図ります。

実績	主に新規就農者を対象に農業委員及び農地利用最適化推進委員とともに、農業者年金制度の説明などの加入推進活動を行いました。
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

4. 組織運営・人材育成

- ◆農業振興課職員との併任により、情報共有化をはじめ、農業振興、農地保全等の業務に共同で取り組みます。

実績	事務局担当職員が農業振興課の業務の副担当となり、共同で業務に取り組みました。
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

- ◆事務局内において運営方針に基づく組織目標の共有化を図るとともに、目標達成を確実にするため、各業務の取り組みに係る進捗管理を徹底します。

実績	運営方針に基づく組織目標の共有や各事業の進捗状況を共有、確認するための職員全員による会議を行いました。
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

- ◆朝礼時にスケジュール等の確認を行い、情報を共有化することにより、業務の標準化と組織力の向上を図ります。

実績	朝礼時に朝礼当番がその日のグループウェアのスケジュールを読み上げて確認しあうことで、情報の共有化を図りました。
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

- ◆各種研修会や府内の業務担当者会議等に積極的に出席するとともに、北河内地区の各農業委員会事務局との連携などを通じて、法令事務等に係るスキルアップに努め、職員力の向上を図ります。

実績	北河内地区農業委員会職員協議会や研修会等に参加し、法令事務等のスキルアップに努めました。
取り組みに対する達成状況	
【 △ 】	

5. 広報・情報発信

- ◆定期的に発行している市内農業者向け情報誌「枚方市農委だより」について、農業者に必要な情報を適時提供できるように内容の充実を図り、農業委員会活動をより身近に感じていただけるよう努めます。

実績	8月、1月に「枚方市農委だより」を各3500部発行し、情報誌「JAきたかわち」に折り込み、各農家に配布しました。
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

- ◆ホームページの内容を精査し、農地転用案件等の手続き等がよりわかりやすくなるよう、情報発信の充実に努めます。

実績	農地転用案件等の申請見本の説明では、記入例や説明文の文字の色を変えることで見やすく、わかりやすい見本になるよう工夫しました。
取り組みに対する達成状況	
【 △ 】	